

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	日本における急性血液浄化療法の現状についての第 5 回全国調査
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	腎臓内科 田中聡
研究期間	2019 年 10 月 ～ 2020 年 3 月
対象者	2018 年 1 月より 2018 年 12 月末までの 1 年間に当院で急性血液浄化を実施された患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	重症患者に対して集中治療室にて透析療法が行われることがあります。これは、慢性腎不全の方がうけている透析とは異なり、急な病状に対して行われるもので、急性血液浄化といえます。急性血液浄化療法は、集中治療領域における必須の治療手段となっていますが、その最適な方法はいまま検討されつづけています。この研究は日本急性血液浄化学会認定施設において実施された急性血液浄化療法に関して、どういう病気におこったか、患者さんの重症度、血液浄化療法の種類や条件、患者さんの転帰などを明らかにし、日本における急性血液浄化の適切な施行方法の策定や標準化、適応疾患の拡大などを図るための基礎資料とするために行われます。
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>①対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・背景因子（年齢、性別、もともと透析をしていたかなど）、 ・臨床データ（重症度スコア、敗血症の有無など） ・血液浄化法（種類、薬剤、期間など） ・転帰（死亡や転院、生存期間など） ・主治医（内科系、外科系、救急科系、その他から選択） <p>②各患者さんに識別番号を割り付けて匿名化を行います。収集した情報を記載した調査票にはこの識別番号を用います。患者さんとこの番号を結び付ける対応表は当院内で厳重に保管し、他施設へは提供しません。</p> <p>③共同研究機関へ提供します。提供先と提供方法は以下の通りです。</p> <p><提供先> 日本急性血液浄化学会サーベイ委員会</p>

	<p><提供方法> <input type="checkbox"/>直接提供 <input type="checkbox"/>郵送 <input checked="" type="checkbox"/>電子的配信 <input type="checkbox"/>その他 ()</p>
個人情報の開示に係る手続き	<p>個人情報開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。</p>
資料の閲覧について	<p>あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。</p>
研究代表施設・代表者	<p>千葉大学医学部附属病院 人工腎臓部 助教 服部憲幸</p>
研究組織	<p>千葉大学医学部附属病院ほか 日本急性血液浄化学会認定施設 96 機関</p>
間合せ先	<p>◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。</p> <p>静岡県立総合病院 腎臓内科 田中聡 代表 054-247-6111</p>